

1. 活動報告(事務局 塩谷 記)

7月28日は夏休み前ということで、草刈りと田の肥料まきをやりました。暑い中全員が汗だくになり、取り組みました。今井会長は風邪気味ということで、この日の朝も点滴を注射してもらってビオトープに来られました。頭が下がります。あまり無理をなさらず、休んで下さいと言うと、焼肉会に心を残されながら帰られました。焼肉会では原田 満洲夫さんが幹事になられ、吉富 匡一郎さんが朝床波の魚市場からイカを仕入れて来られました。又、上田さんと山本さんが暑い中、ムスビ作り等に頑張られました。お疲れ様でした。県の浅原さんから高価な？焼酎の差し入れ、全員で酌み交わしました。おはようアサヒも取材に来られて8月12日に掲載されました。記者の方も一緒に焼肉をつつかれていました。たまには、こういうこともいいものです。次回は地元ばかり負担をかけず、大衆酒場などでやりましょう。

8月7日神奈川県南足柄市から市議会福祉教育常任委員会委員長の渡辺 昭治議員が視察に来られました。330万円で作ったことに驚きの声を上げられていました。

8月19日に超大型台風が接近し、そのコースに入っているため、水車の固定作業をしました。今井会長、原副会長、林 弘之さん、西原さんと私(塩谷)の5人でやりました。緊急だったため、みなさんに呼びかけることはしませんでした。台風が恐れをなして、避けてくれたようですが、これからも何回も台風が来るでしょう。早め、早めの対応こそ無駄かもしれませんがベストだと思います。

2. 今後の予定(事務局 塩谷 記)

宇部市と山大の共催で「大学開放講座」が開催されます。9月14日はビオトープの作り方と生かし方と題して関根先生が講義されます。22日はビオトープを実際に見てみようということで、現地研修があります。

9月に会としてやらなくてはならないことは(1)草刈り(2)木の植栽計画(3)22日の会としての対応(4)環境パートナーシップ事業(遊歩道設置)の検討などですが、会長等と日程を調整し、後日、ご連絡します。

3. 里山ビオトープ二俣瀬への礼状

8月7日の見学に来られた渡辺 昭治議員より塩谷さんへ礼状が来ました。

冠省。 先日はご多用の中、突然に私一人の視察のためにご指導ご案内を頂き大変に有難うございました。 私どもも平成三年にビオトープを真似た親水公園を作りましたが今は八手橋も朽ちはてて見るに忍びない限りです。ご送付頂いた資料を基にボランティアを中心に再現する事と、休耕田の高度利用も九月の一般質問で提案してまいります。東京方面にお出での際には是非お立ち寄りください。有難う御座いました。 早々。 平成十三年八月十四日

4. ビオトープ関連 (一口メモ)

“トンボ観察日記” (原 隆 記)

8月4日(土) 晴れ 12時~14時。 今日もまた、来てしまいました。どんなトンボがいるのか探しに...。今日も、沢山のトンボが迎えてくれました。まず、目に入ったのは、田んぼや草原の上に群飛するウスバキトンボです。ひらひら飛んでるトンボですが、赤トンボではありません。南から北上して産卵と羽化を繰り返して北上して行くトンボです。地方によっては、精霊トンボとか、盆トンボとか色々呼び方に、違いがある様です。以下今日、観察できたトンボの記録を書きます。

ハグロトンボ3 2 ... (小川) ナツアカネ1 (未熟)...初記録、 コシアキトンボ1、 ウチワヤンマ2、 タイワンウチワヤンマ1 (未熟)...初記録、 シオカラトンボ...多数(交尾・産卵多数)、 クロイトトンボ...多数(交尾・産卵多数)、 ホソミイトトンボ...2 1 (産卵目撃)、 キイトトンボ...3 1 ...初記録、 ハラピロトンボ...2 1、 アオモンイトトンボ...1 1 ...初記録、 ハッチョウトンボ...2 ...初記録、 ウスバキトンボ...多数

“考察” タイワンウチワヤンマとハッチョウトンボには、驚きました。タイワンウチワヤンマは、南方系のサナエトンボでウチワヤンマに大変よく似ています。しかし、よく見ると尾のウチワ状に黄色い斑がないのが、タイワンウチワヤンマです。ビオトープでは、この2種がありますが、はっきり住み分けをしています。よく注意して観察してください。ハッチョウトンボは、宇部市内では、所々で見かけますが数は減って来ています。世界一小さいトンボなので、見つけるのは簡単ではありませんが、一目みれば要領は、すぐつかめると思います。いたのは、湿地のゾーンです。しかし、時期的にそろそろ終わりなので見つかれば、幸運です。

8月5日(日) 晴れ 14時~16時。 今日も、やって来ました。気が付くと、足がここに向いてやって来てます。今日も、来てみたら私一人でした。丁度、今時は夏真っ盛りできっとみんなどこかで避暑しているんでしょうか?でも、こんな時思うのですが、こんなに広くて池も沢山あって湿地もあって小さいけど川もあって、おまけに田んぼまでくっついて一度に見晴らせる事ができる景観はすごいと感ずます。そんな中に、自分一人がいるとまたこれも、非常に良くてとても心が涼しくなって自分もこの中に吹く風に同調してしまいそうな位に、感ずます。今日、観察できたトンボの記録を書きます。

ギンヤンマ...1 ...初記録...(止水池で縄張りを張っていた)、 ハグロトンボ...2 ... (ビオトープ内の小川で縄張りを張っていた)、 ナツアカネ...1 (未熟)、 ウチワヤンマ...2、 シオカラトンボ...多数...ビオトープ内での最優先種で、交尾・産

卵が多く見られる、 オオシオカラトンボ...2 、 クロイトトンボ...多数、 ホソミイトトンボ...多数、 キイトトンボ...3
1 、 ベニイトトンボ...2 、 アオモンイトトンボ...2 、 ハッチョウトンボ...3 、 ウ斯巴キトンボ...多数、 マユタ
テアカネ...2 1 ...初記録...アカネ属のトンボ(額に眉斑がある) チョウトンボ...1 ...初記録...(羽が黒光りしてヒラヒラ
と蝶のように飛ぶ)

追加...ツクツクホウシ(セミ)...このセミの鳴き声を聞くようになると、秋の気配を感じます。それから、トンボ・イトトンボ
の羽化殻を池や湿地で沢山見つけました。同定は、はっきり出来ませんでした。色々なトンボがやって来て卵を産みヤゴにな
ってまたトンボになった証拠です。皆さんも、羽化殻探しして見ませんか?水草や池の中の木などに付いています。よく注意して
池に落ちない様にして下さい。

8月11日(土)曇り 11時~12時。 やっぱり、自然が好きなんですね。トンボが好きなんですね。いつも、時間があるところ
この、池や川や湿地なんかに行き行ってトンボ探しに出かけています。最近、地元じゃ物足りなく県内はもとより、遠くは鹿児島
島県や福島県・対馬・四国他なんかにトンボ探しに出かけています。同じ種類のトンボでも、地域によって個体の差(大きさ・
微妙な色・模様の違いなど)があって面白いです。今の、夢というか行って見たいのが、小笠原・西表島・北海道です。人間、
やっぱりここに夢をもって行きたいですね。この、ピオトープにも私も、たくさんのトンボが住める空間を作って行こうと
思っています。以下今日、観察できたトンボの記録を書きます。

キイトトンボ...1 、 ベニイトトンボ...1 、 ハグロトンボ...2 ... (ピオトープ内の小川で縄張りを張っていた) クロ
イトトンボ...多数、 ウチワヤンマ...3 、 シオカラトンボ...多数、 ホソミイトトンボ...多数(このトンボは越冬するトンボ
です。この時期、湿地内で越冬する個体がたくさん羽化しています。) ショウジョウトンボ...1 、 ウ斯巴キトンボ...多数

今日は、やや曇っていて風も少しありました。トンボは、風が出て曇ってくると周辺の草むらなどに隠れてしまいます。今日は、
確認できたトンボもやや少な目でした。それから、そろそろ夏のトンボから秋のトンボに変わりつつあります。田んぼの稲もだ
んだん大きくなってきました。稲穂の先に止っている沢山の赤とんぼが早く見たいものです。

追加記録...湿地内でギンヤンマの羽化殻1 を採取しました。

5. ピオトープ関連 (ピオトープ近辺の案内)

えんこ塚 (車地 吉富 壮介 記)

車地・秋吉建設から宇部よりに150m、大樹の元に石が立つ、これが“えんこ塚”。“えんこ”とは架空の動物、狐狸妖怪の類
いで、全身濃緑色、肌はナマズの如く、その姿は猿の如しとか。遠賀川の kappa ほど有名じゃないが、川の淵、深いタンポに住
み、泳ぎに来た子供たちに悪さをする。子供の一人泳ぎを諷めるとき「えんこが引く」と怖らかずに使われていた。悪運つき
て捕われ、埋められて立てられた“えんこ塚”いま“立石(たていし)”で知られている。

6. 会員の声

“ホタル雑感” 林 弘之 記

今年は5月14日に初出会い。昨年は13日。発光はまだ弱々しい感あり。以来徐々に増え、見物人も昨年より大幅に増加。小野
田からの家族連れは「田の小野におると聞いて行ったがひとつもおらんじゃった。そこで車地の水車の辺におりゃせんかと聞い
たけ寄ってみたがえかった。よけえおりますのお。ええですのお」と田の小野出身らしい婆さんの弁。

ある晩、墓をすぎた辺から大声が耳に。近づくと「ホタルを捕るな」「捕ってもええじゃあなか」「なにお わりゃ上がって来
い。」「おまえこそ降りて来い。」道路と川土手でのやりとり。そのうち何か道士手に投げた音がしたので「ケンカをするような
人はホタルを見に来たはいけません。」と私の声。その後男性が謝りに来ておわり。翌朝土手を探すとホタルを入れる容器が草
にひかかっていた。ケンカ相手の一人と私は以前他所からゲンジボタルを捕って来て、この川に放した経緯あり。そのため私自
身「捕るな」と言い難い複雑な気持。

別の日、アベックと出会い声をかけたら「林さんじゃないですか。僕は山大の生徒です。」と男性。ということは以前私の家へ
来た山大生の一人と思いつつ歩くと「うわー、水車があるのね」と彼女はびっくり。それから東屋の方へ降りると言うので「ハ
ミに気をつけて。」で別れた。二人はずっと手を握り合っているのを夜目にも感じたが、ハミの方には気が向くまい。定
年すぎの身にもうらやましい限りである。

ある時、水車の端にホタルが一匹とまっていた。下に廻ると水面ぎりぎり位の感じ。ホタルが大観覧車に乗り何を見て楽しんで
いるのか。数えること10回転で飛び、また反対側にとまった。3回廻って飛んで消えた。自宅に帰り山側を見るとヘイケボ
タルが一匹飛んでいる。ひょっとして池にもいるかと思うと一匹ゲンジが石の上で光っているではないか。三月頃川で4匹の幼
虫を捕り、池に放したのが羽化したのではと胸を膨らませた。以前はヒメボタルも飛んでいたが近年姿を見ない。

ところで昨年は6月3日がホタルの最盛期だったと思うが、今年はそれがなかったようで数も少ないようだ。見物人増加による
持ち帰りのためかなと思ったりもする。山口市の良城小学校でホタルの養殖を関根先生や大学生と一緒に見学させてもらった。
今後の対策として二俣瀬小の校長さんに学校でのホタル養殖を打診してみよう。

7. 来訪者の声 (東屋のノートより一部抜粋)

年前の中学時代を懐かしく思い出少女時代に帰りました。自然の中でいい所ですね。(7月8日 兵庫県加古川市尾上
町安田 長嶺和子)

大阪の吹田から来ました。完成を心待ちにしています。(7月8日 長岡勝男)

私の小さいころは山と田んぼばかりでしたのに、こんなにすばらしいところが出来そう...。今度来る時が楽しみです。(7月8
日 名古屋市 田中広子)

今日初めて孫二人に連れられて来ました。これまでにされたボランティアの方々に感謝し見学させて頂きました。小学校の児童達が植えたたんぼの説明やその他について孫から教えてもらい乍ら見学いたしました。又、来て見たいと思います。(7月27日 下善和 田中裕太 哲也 ばあちゃん)

へびがかえるをたべました。びっくりしました。立川よしき。初めて息子2人を連れて来ました。ビオトープに住む、水生生物や昆虫の観察をしましたが、私も初めて見る生き物に感動しました。いつまでも子供達が安心して自然に触れる事ができる環境作りに大人の私達が努力しないといけないなあと思いました。(7月28日 宇部市西岐波 6494-113 立川美香)

神奈川から来ました。まっ暗な中でホタルが見れて感動しました。(7月31日 吉富)

規模等、内容等、いろいろな意見もあるでしょうが、ボランティアでこれだけの物を作られたこと、ただただ頭が下がります。昔何処にでもあった里が見られなくなったのは寂しいことです。自然を破壊し、又お金をかけて自然再生する。バカげたことですが仕方ありませんね。こういう活動や場所ももっともっと増えることを期待して止みません。(8月11日 河野)

晴れたり曇ったり。見たところ、出来てあまり年月が経っていないように見うけられる。自然の大切さを後世に教えるきっかけは大事にしたい。管理は大変でしょうが、大自然にとけこんだ姿になるまで、面どうをお願いします。(8月11日 宇部市東須恵第二原 二谷茂生)

今日、初めてここに来てメダカがいたのにビックリした。見たことのないトンボや、大きな水車も見れてよかった。また来たいと思った。(8月12日 山口市陶 吉本剛大(㍉㍊㍋) 6年)

今日、初めてここに来て、こんなに大きな水車を初めてみた。大きな水車をみておもしろそーだなーと思った。来年もまたきてみたい。(8月12日 山口市陶 吉本朗大(㍉㍊㍋) 5年)

少し前から、このビオトープを作っておられる姿を見ていましたが、本日、やっと暇が出来たので、じっくり見させて頂きました。第一印象は、「まだ完成してない...」です。しかし、このまま、時がすぎれば、自然と完成するのだと、自分は思います。設備的な面で、もっと、色々作って欲しいという意見もあるかと思いますが、自分はこれで十分だと思います。駐車場が無いのも逆に良い事。照明が無いのも当たり前だと思う。多くの子供たちが、ここを訪れ、やさしい、豊かな気持ちをもった子供になる事を期待します。追記、ボランティアの皆様、本当にごくろうさまです!(8月13日 宇部市 大石ト)

8. 会よりの連絡事項

9月1日(土)午前9時から、つくる会の全体会議です。

9. 編集後記

先日、7月下旬の草刈り以来、久しぶりにビオトープに行っまいりました。道路、用水路法面での雑草は、あまり伸びていませんでした。しかし、草原ゾーンは、名実ともに草原ゾーンになっておりました。また、ため池ゾーン、湿地ゾーン周辺の雑草も成長が早い様です。今年はまだしも、来年の草刈りは大変でしょう。

草原ゾーンを歩いて感じたのは、会報1号で西原さんが述べられているのと同様に、どの程度まで草を取り除くべきかということです。小川の中にも水草が生えており、須河内川放流口をはじめ数ヶ所で、これによって流水が阻害されておりました。取り除こうと思いましたが、この行為が自然の営みに反するものと考え、そのままにしておきました。

ビオトープが人の手によって作られる以上、その形態には、管理する人達の考えが現れます。この「里山ビオトープ二俣瀬」が、数年後に、どのように変化していくかが楽しみです。時間に余裕ができたなら、国内に点在するビオトープを訪ね、どのような管理がなされているのかを見たいと思っております。(前田 歳朗 記)

久しぶりにビオトープを訪れた。(夕方) 黄色いこお骨が花をつけ、鷺草がかれんに咲いていた。めだかも増え、蓮田も湿地も小川もそばを通ると水の中が騒がしくなる。トンボも水面を楽しんでいる。環境は整ってきているので、秋の植栽が楽しみです。でも、湿地に雑草と思われる植物がりっぱに成長して緑の景観をみせている。けれど、これをどうすべきなのでしょう。秋にはお月見もいいですね。(松本 フデ子 記)

里山ビオトープ二俣瀬 会報第4号(写真)



7月28日 草刈り作業



7月28日 草刈り作業



7月28日 草刈り作業



7月28日 草刈り作業



7月28日 作業後の焼肉会



7月28日 作業後の焼肉会